

事業所名 ホームケア一学園南

作成日：平成 23年 6月 25日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	学園南 I の二階居室からの避難訓練や、夜間を想定した訓練が十分に行われていない	避難訓練時に細部まで見直していき、より安全性を高めていく	消防の職員に訓練に参加していただき、指導をしてもらう。夜間の避難訓練を想定し、昼間に行うようにし情報を共有する	4ヶ月
2	36	一人ひとりの尊重、プライバシーの保護が十分ではない	職員全員の介護への認識を改め尊厳のあるサービスの実施に取り組む	職員全員の研修を実施、職員の資質の向上に努め認識を改める。介護の基本、人として介護を受ける側からの立場に立って当たり前の研修から実践。サービス内容の見直しを行い尊厳ある介護にあたる。	3ヶ月
3	6	身体拘束をしないケア実践は正しく理解しながら努めているが離室が頻繁な症状の利用者が多く生命に関わる。	利用者の安全が確保され利用者にとって弊害にならない事を基本に玄関から出たらより沿う	運営推進会議での検討を継続し、地域行政、家族など多くの方の意見を交え方向性をさぐる	12ヶ月
4	35	災害時の地域住民への働きかけが不十分であり、協力要請に問題がある。また災害時の非常物品の備蓄の量の検討が必要	地域住民の方に災害時における協力要請を継続的に意識付けすること。災害時、救助を待つ2～3日分の非常物品の備蓄が常になされていること	地域の方への協議要請は運営推進会議で毎回議題にすることと議事録の配布により行う。非常物品の備蓄は水、栄養ドリンク、小麦パン、紙おむつを確保	4ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい